本校の研究全体構造図

学習指導要領

・自ら学び、自ら考える力の育成

・確かな学力

・豊かな人間性

生きる力の育成

学校教育目標

（めざす児童像）

⑴自ら学び、考え、表現する子

⑵）相手を思いやる心あたたかい子

⑶「ちがい」を受け入れ、助け合いながら共にやりぬく子

⑷ルールやきまりを大切にして生活する子

⑸運動を楽しむ元気な子

保護者のねがい

（めざす児童像）

（１）学び合いを核にした授業の推進

（２）親身な教育相談

（３）安全な登下校

児童の実態

・学力の低下

・思考力・表現力の乏しさ

自ら学び、共にひびき合える子どもの育成

「文章の内容を的確にとらえて読み、自分の考えを生き生きと伝え合い、想像豊かに読むことができる子」

自ら学ぶ

〇課題を見つける子

〇自ら考える子

〇解決しようと努める子

共にひびき合える

〇共感しながら聞ける子

〇自分の考えを伝えることができる子

〇よりよいものを創り出していこうとする子

「文章の内容を的確にとらえて読み、自分の考えを生き生きと伝え合い、想像豊かに読むことができる子」

・叙述をもとに想像豊かに読む、段落相互の関係や事実と意見の関係をとらえて読む子

・友だちの良さに触れ、最初の読みと比べて自分の読みを豊かにできる子

豊かな かかわり

確かな 教材分析

授業づくり

①問題解決型の学習の推進

②言語活動の開発

③教材研究に取り組む

④発問・板書・環境を工夫する

⑤ワークシート・ノートの工夫

⑥座席表の活用

⑦読書の充実

⑧評価の工夫

基礎づくり

・基礎学力の定着

・伝え合う力の育成

確かな学力

学習に生きる評価

・自己評価の活用

・評価基準の活用

・座席表の活用

指導と評価の一体化

学級経営の充実

・道徳教育の充実　・児童指導の充実　・特色ある特別活動の充実